京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

寄書

怯懦なる飼主

旭川

日本人間の係爭事變上に於て多く其の原因は排日にありとなすは非也。甚だしきは瑣民の爭鬪にしても電車中での紛爭にても、苟も韓人多數にして少數の日人を襲ひ、日人の之に敗れ傷くものあらば、[illegible]原因を究むることなく[illegible]傷く彼れ等は耶[illegible]者也。由來此の[illegible]に加ふるに日人[illegible]せるものゝ使嗾[illegible]喧傳せらる、而[illegible]と報導してさへ[illegible]き事を爲す迄に[illegible]此の不穩なる文[illegible]拂へるを見ず、[illegible]所に至らざるか[illegible]ん也、此れ予の[illegible]所以也。

[illegible]る人あり、犬や[illegible]其の他の事に依り[illegible]することあるべし[illegible]ことをあるべし[illegible]之を以て直ちに[illegible]は鞭を加へ若は[illegible]久しからずして[illegible]也。人に比ふる[illegible]する節なきに非ざ[illegible]の妙用機微は決し[illegible]運ぶ所なし。眞に[illegible]は彼れは實に犬を畜ふの資格を缺ぐものと云ふべきに非ずや。今、日人馴れて狎せる韓人誤ち解して僅かならざる韓民を見、一も二もなく其の原因を排日にありとなす、怯懦實に此の犬の飼主に似たらずや。第三者を以て之れを見る、日人は遂に自ら韓人を導くの資格なきを知悉せるもの、とも見らるべし、韓國には排日熱熾烈にして云々とは即ち第三者の或る爲めにする所あるものゝ云ふことにして韓牧民者たる日人自らの決して口にする言語及び筆にする文字にあらずと云ふべし、深く思はざるべからず、況んや其の形式は現に角事實に於て今や殆んど日韓一家たり此の間何んの排日か之れあらむや、然るに種々なる大道具、小道具……基督教や牧師や儒生輩までを引き合ひに出し無理に排日劇を脚色して得たりとなせるが如し。職樂も事に寄りけり也。心すべき事にあらずや。敢て言ふ(十八日稿)

雜報

仁川大火に就て(上)

(宮部警視談話)

新町及濱町に於ける今回の火災は實に去る明治四十年來の大火災で三十萬以上の財產は爲めに烏有に歸したるのみならず人の意氣を沮喪せしめ地方の繁榮上無形的に間接の損害を與へたることも亦少なからずと思ふのである、それに就ても對火災戰鬪準備の整頓と云ふことは極めて必要の問題であることは言ふ迄もなく個人、公共、兩方面に渉りて防火設備の一日も早く完備せんことを渴望して止まぬのである、

今回の火災も若し昨年貯水池及び蒸氣ポンプの設備せられたる以前に起りたりとせば恐らくは明治四十年の慘害以上であつたろうと思ふ、災害の起つた後より考へて見ると設備費や維持費の如きは極めて廉價で多少の無理算段をしても算盤上損にはならぬのである、公共的設備に關しては昨年當地の消防設備(防水池及び其他の設備にして今回の火災に一方ならぬ効果を奏せしめたり)の設計に任せられたる警視廳の小熊警部の今正に滯在調査中であるから成案の上は來仁を乞ひ理事官民團長とも熟議の上早晚多少の改善を施す筈である、尤も水道消火栓も本年九月上旬には間違なく使用し得るとの事であるから大裂裟の設備は差當り必要はないのであるが應急の施設改善を加へるとしても消防費に對する市民の加重負擔は免れぬと思ふ、釜山では水道消火栓もあるが常設備の制度を採り其經費は一萬圓以上を支出して居る、又今回の火災は都合三回共韓人薪炭商の溫突から發火し商賣物の松葉に燃移つたので孰れも失火である、元來新町の如き日本人市街の中央に何等防火設備なき韓人薪炭商を無制限に營業せしむるとは單に日人のみならず韓人團に於ても苦情のある問題で今後は他に適當地をトして薪炭の置場を造らしむるか又は適當の防火設備を命ずる積りである。個人及公共の火防設備の改善に付ては上述の如く目下考案中に屬することであるから暫く之を措き火災現場に於て吾々の屢々目擊しつゝある事柄に付少しく自分は思ふところを述べ反省を求めたいと思ふ。

公德と云ふことは火災の如き公共患害の急迫且激甚なる際に於て最も明白に現はるゝのである、特に我仁川の如きは歐米人も淸國人も澤山在住して火災の際などは邦人の一擧一動を仔細に注視して居るのであるから大にしては公德に關する國民的性格を疑はるゝと云ふことになるのである、廣義の公德心は姑らく措き茲に言ふ火事場公德と云ふのは要するに火災に罹り又は火のために脅かされつゝあるものに對して哀心同情の念を以て待つと云ふことに歸着するのである、火災は言ふ迄もなく公共の患害中至慘なるものである、阿鼻叫喚の巷に驅け迷ひつゝある不幸の人々を見ては誰しも同情の念に堪へぬ之は元より人情ではあるが、火事場に於ける見物人の態度は稍もすれば敬虔を缺いて居る樣に見ゆる、元來人の不幸を見物すると云ふことは第一宜しくない、尤も見物人彌次馬の中には其附近に自己の家作又は親類などがあつて心配の餘り形勢を窺ひに來て居るものもあろう、なれども中には眞の彌次馬で卷煙草を咬へ太甚しきは壯快だなどと云ふて宛然演劇見物でもする風で見物して居る、恐らくは渠等の心中ではまさか物見遊山でもなからうが兎に角渠等の態度は斯る場合に適應しき敬虔とか同情とか云ふ表情の態度ではないと思ふ(未完)

蔚山沿岸の住民

國有漁基調査の爲め久しく蔚山地方に出張されし湯淺主事の歸來談に曰く[illegible]初慶尙北道迎日郡浦項、青河、興海等の甕岩を調べ再び浦項に歸り蔚山沿岸を視察せしが漁石に國有漁基とせられたる丈け他に比較して發育良好なる上靑河、黃海は其の主要地にて沿岸の狀態は半農半漁なれども甕を以て生活の資料になし居れり元來甕は麥作の如く二年に跨り今年岩を打碎き甕の附を好くする樣手入をなし置き翌年三四月頃錄にて採收し各市場に出すものなるが從來國有なりし爲め一個人の所有する事を發さず其の以前は宮內府に屬し年々人を派し相當の稅金を徵收しつゝありたるを隆熙二年六月國有所屬に編入せられし以來度支部の所管となり財務署に於て是を競賣し競落人は各村落に轉賣せり斯の如くにして仲間者の私腹を肥し或は宮內府所屬當時種々なる名目の下に浮浪人連に私され貧民は非常なる困難をなし來りたれども今回漁業法施行されたると同時にかゝる弊害は凡て除去され免許漁業として何人たりとて出願者に許可せらる可ければ從て斯業の發達も推測するに難からざるべし

練習艦隊の編成

海軍兵學校の卒業期は例年十月なりしも規則改訂の結果本年度よりは七月に繰上ぐることゝなり現在の練習艦隊阿蘇、宗谷の二艦は現に濠洲方面へ向け遠航中にして同期までには歸航せざれば更に新練習艦隊を編成するの必要を生じたるが右は多分裝甲巡洋艦淺間(排水量九千八百八十五噸、速力二十一一海里)二等巡洋艦笠置(排水量五千五百三噸、速力二十一、七海里)の二艦を以て組織せらるべく目的航海地點は中米パナマ及び南米沿岸にあるものゝ如く司令官は本人の希望を斟酌せざるべからざる事情あれば未だ決定せずと因みに七月卒業すべき人員は百五十名也

●日本青年會と其事業

東京なる讀賣新聞社發行日本農業雜誌編輯主任小山田武男、國民新聞記者門田蔚衛の兩氏は今回東京市麻布區仲の町六番地に日本青年會を設立し青年の精神的敎育の任に當らむとし先づ其の第一步として月刊雜誌『青年』を三月十日より發行する由なるが『青年』は從來の文學的雜誌若くは成功熱を煽りつゝあるものと全く其撰を異にし新國民に新思想を涵養せしむると同時に現代青年を活動の舞臺に飛躍せしむるに在り卷頭の講演と卷尾の雜錄に至る迄で一字をも苟くもせず趣味あり實益ある平易なる倫理書を讀ましむるが間に青年諸子に實利を收めしむるを期し每號の誌面は新國民の教科書と云ふも過言にあらざる有益なる雜誌にして郵稅二錢を添て申込まば其趣旨書を發送すべし

日本銘刀傳

第四十八席 邑井一講演

五「さうか、そりやアまア好い所で遇つた、此處で遇つたのは何より幸ひ、現に角俺の所で遊んで居ろ 仙「イヤ遊んで居る譯には往きません 五「さう言はないで遊んで居ろ」無理に北野の五郎邸宅に連れて來て、暫らく遊んで居た十三の歳に相成りました故、何時まで遊んで居ても仕方がない、江戸に行かうと、安政四年の春、京と江戸の間の兎角物騒がしき頃、小脇差を打込んで袷一枚に博多の帶、合羽を着して兩掛を擔いで、粟田口まで送られて、日野峠をば越へて仕舞ひ、驟て來つた山下の松の茶屋、此處で一杯茶を飲んで行かうとすると、多くの馬子が其處に眼張つて居て ○「良い馬やらうか、大津までやらうか 仙「馬ア貰つたつてしやうがねえ ○「馬ア貰つてもしやうがないとは何んぢや、大きな韻託を吐さくさるな、此の餓鬼ア乘らねえたつて乘せて行くぞ 仙「大きな御世話だ、二本の足があるから歩行いて行く ○「二本の足があるからつて、餘計なことを言はねえで乘れ 仙「忌だ ○「忌でも言はねえで乘れ 仙「此の奴等ア種々なことを吐しやがる、忌だから忌だと云ふんだ ○「何うでも乘らなけりやア搆やアしねえ、懷の錢を取つて呉れる」と左右から突如仙吉の懷に手を入れやうとしたゆゑ 仙「さては汝等は盜賊だな馬鹿にするな」と一刀を引拔いてパット斬込だ、親父の遺傳か、腕前は天晴れ優れた上阪仙吉、馬子の片腕切落し、知らん顏して鼻唄を歌つて、大阪山を越ゑて大津の宿へ行かうとすると、此れを大津の馬子中に知らしたものと見へて、向ふからワッ／＼と云ふ聲 ○「ヤイ、此の餓鬼だ」ワーッ、と大勢が取圍んだのを鼻唄を歌つて來た仙吉 仙「ウンそれぢやア、先刻馬子を斬つたのを、遺恨に思ふて、大津中の馬子が寄つて來たんだな、よし／＼、何んな奴でも持つて來い、死物狂ひに仙吉が片端から斷つて呉れる、再び引拔ひたる一刀、眞向上段に振被る、此の時向ふより十七八の女 女「此奴等ア何をしやがる」 馬子「姐何うか引いてれ呉んなさい」女「貴樣達ア何んで斯う云ふ若い者一人を相手にする、若し若衆何う云ふわけだい」仙「何、樣の茶屋で休んで居たところ、此の馬子共が俺に馬に乘れと云ふから、忌だと云ふと懷に手を入れて金を取らうとするから、據なく一人の馬子の腕を落した此處まで來ると此の始末 女「さう云ふ譯なら妾に何うか任してれ呉れ、妾は金剛市兵衛の娘のれいしづ、まア家へ來て貰ひませう」と此のれいしづと云ふ女が大津有名の金剛市兵衛の所に連れて參ります、茲に暫らく足を留めることになつたのが安政の五年、れいしづと市兵衛の世話を受けて遊んで居たが、もう愈々水戸に行かなければならぬ、自分に於ては水戸に參りまして、親父の源之助を尋ねる積りで、大勢に別れを告げて、戻りには又御厄介になりますと、遙々水戸に參りまして、萬延元年の春まで居たが、親父行方は更に知れん、據なく江戸に立歸り、是れから致しまして東海道を上らうとする……三月三日に伊井掃部頭樣が討たれたと云ふ、是れが爲めに迂乎して居て、飛んでもないことになり往つてはならないから、そこで暫らくの間自分は江戸に居たが、何時までも居られませんから、五月の中旬江戸を出立いたして、金剛の親分の所へ又行かうと云ふので足に任して上つて來た東海道、名に負ふ箱根の山越へて、景色勝れた田子の浦邊、往來は少のうございますが、近道せんと足を早めてやつて來ると、遙か向ふに血汐に染みたりし一人の武士の姿を見ました

東京電報

又新會員の脫會
又新會の十一人組は本日脫會し新倶樂部を組織して追て進歩黨に合する筈なり（十八日）

大島都督の留任
大島關東都督は諸方面の勸告に依り當分留任に決したり（同上）

地方長官の召集
平田内相は四月七日頃地方長官を召集し會議を開く筈なり（同上）

下院と營業稅案
本日政府委員は營業稅委員會に於て「料理店は[illegible]十五歲未滿のもの雖も成年者以上の働きをなすを以て課稅す」と言明せり又衆議院は本案に大修正を加へ物品販賣業の區別は廢止すべき筈なりと云ふ（十九日）

兇漢判決と世論
英米の諸新聞紙は伊藤公暗殺者安重根に對する旅順法院の判決は極めて公平なりと論じ[illegible]之を稱讃し居れり（十九日）

對韓政策一決
對韓政策に關し去る十八日午前十時より桂首相以下各大臣閣議に會し重要なる會議を開き秘密會として數時間に亘り審議の末遂に一決せり（十九日至急報）

對韓方針の確立
昨日の閣議に於ては[illegible]政府は將來一定不變の確信を以て進行すべき對韓方針を確立せり（同上）

在韓教員加俸案
政府は本日在韓教員加俸案を[illegible]提出せり（十九日）

北京電報

廣東暴動の巨魁
廣東省に於て大反亂を惹起したる巨魁は逃走して日本に渡航せりとの說あり清政府は追跡三名を渡日せしめたり（十九日）

廣東反亂の善後
廣東の兵變に際して死刑に處せられたるもの八十六名に達したり尚袁總督は事件の善後策に就き中央政府に要求する所ありたり（以上十九日發）

雜報

徵稅方針の確定
市場稅徵收の爲め地方に於ける騷擾は順川を第一とし北道影響し安州市場及中安南北道乃至黃海道一帶の人氣頗る險惡なるが爲め當事者に於ても從來の如く講究中のところ今回徵稅の手續を成るべく簡便にし其の内容を人民に知らしむるにあり夫れが爲め從來各個人に就て查定したる徵稅の方法を廢止し大體より達觀的に觀察して附近に於ける市場の權衡を取り其の市場稅を一定し以て市場に公示する筈なるが收納は一箇月位取纏め上納せしめて徵收の費用を省くことゝし此際地方の官廳は互に協議を爲し各市場に於ける業者に依り店主より委員を選定せしめて各商人に市場稅の賦課を爲さしむべく而して一箇月二百圓未滿の店は之れを市場と見做さず内部及度支部に於ては協議の上不日夫々訓令を發する筈なるが此方法は第一着に平安南北道及黃海道地方に施行し其の他の市場は狀況に應じて之れに準據せしむる筈なりと云ふ

脫稅問題の請願
[illegible]撤廢に關し請願[illegible]十九日統監府へ左の請願[illegible]

統監府及其所屬官署官吏の荷物及小包郵便物に對する無稅通關の特典を撤廢せられんことを希望す

統監府及其所屬官署官吏の荷物及小包郵便物は去る三十九年以來總て無稅通關の特典を有し爾來各官署官吏の增加と共に此無稅通關の特典は廣く且つ巧に利用せらるゝものゝ如くにして少からざる物品は在留商人工業者の如く何れも母國其他の商人若しくは共同[illegible]もの多きを傳ふるに伴ふ弊害も亦釀生し之れ等貿易貨物の比較的增加を示し之れ等無稅貨物は最近に於て巨額に達せり爲め業者は或は販路に於て尠なからざる打擊を受くるのみならず延ひて一般の影響を與ふるに至る如斯は獨り商工業の[illegible]希望する所以なり依り茲に請願候也

明治四十三年二月十九日
京城日本人商業會議所會頭 中村再造
統監子爵曾禰荒助閣下

泰川市場の不穩
[illegible]泰川邑區内商人等は市場稅に反對し聲高く一般民心稍動搖の[illegible]て泰川邑區内商人自ら[illegible]明なりと云ふを聞くに[illegible]せば人民を煽動して[illegible]なり云々と南市は既に[illegible]言動の影響あるもの[illegible]附近の耶蘇信者等の[illegible]あるにあらざるかと思[illegible]嚴重警戒中南市場管理[illegible]投書又は廣告等あり其

市場管理人たる韓國人は其の職を辭すべし但し死を以て其の職に當る決心ならば管理人たるも可なり管理人たる親子なる者は此の覺悟あるを要すと云々と

以上の狀態にして市場管理人中那主事既に辭職申出でたるものあり依りて嚴重警戒中

前記の如く不穩の狀況なるを以て定州分遣所より憲兵上等兵一補助員三名を以て出張中

私立學校廢止訛傳
頃日說をなすものあり政府は各私立學校を廢せんとするの議あり爲に漢城府内各學會は聯合して來二十五日大會を開き右に關する商議を爲すと右は殆ど政府從來の方針より推して理由なきものと認むるを以て學部當局に就き之を問合せたるに果せる哉右は訛傳の甚しきものにして政府に於ては隆熙二年勅令第六十二號を以て私立學校令を頒布し其際學部大臣より訓令したる如く決して同令に依りて私立學校を檢束せんとするものにあらざるのみならず私立學校の完きものは益之を獎勵し弊あるものは之を矯正し提撕誘掖以て其本然の目的を遂げしめんとするは實に同令の精神に在るを以て今更何等の理由なくして突然之を廢せんとするの理なく全く爲にする所あるものゝ浮說流言に過ぎざるを以て學校當局者並に一般人士の斯る浮說に眩惑せられざる樣注意すべしとのことなり

兇漢判決と韓人
兇漢安重根に對する吾が關東都督府地方法院の判決は世界一般に其公明正大を稱賛しつゝあるが此際韓人側の批評如何を窺ふに元來文化の程度甚だ幼稚なる彼等の事なれば批評區々として一顧の價値なきも要するに安に對する死刑は當然免るべからざる宣告なりとし又其他に對する判決は其輕きに驚き居れり韓人一流の推定は古來の習慣上斯かる犯罪は主從を問はず嚴刑に處せらるゝものと思考し居るより法律適用の如何を問はざるものゝ如し而して判決の公正は孰れも之を認め居るも唯だ安の希望する辯護人を許可せざりしを遺憾と評し居れり

西韓方面益々不穩
曩に一度不穩の報を傳へ兩三日前再度暴民大擧して停車場を燒拂ひ日本人を鏖殺し財務署を破壞すべし等の流言を傳へたる安州は今日に至るも尚不穩の狀勢に在り訛傳蜚語今尚歇まず人心恟々たるものあるが十八日午後七時發の報告に依れば安州市場に於ける徵稅額數圓に過ぎず市場の狀況は表面危險なきものゝ如きも尚十分の警戒を要すと

又平安北道博川に於ても市場稅反對の檄を飛ばし本日の開市頗る不穩なるべしとの電報十八日午後其筋へ到達したる等西韓益々不穩なり

財務官吏へ訓令
市場稅徵收は何分新稅に對し誤解せる頑迷なる商民を對手とする事なれば其の手加減如何によつて不慮の變を惹起す事勘からず現に順川の如きは全く財務官吏が徵稅當時其方法を誤りたるに原因せりと唱ふる者あり依て今回地方局長は各道書記官の手を經てそれぞれ財務官吏へ徵稅心得の訓令を發する由

●負褓商取締の急務
八十萬の會員を有すと呼號せる負褓商は其組織の起因より推すも政治を意味せる團体たる事勿論なるが近時地方に於ける紛擾の原動力は主として此の負褓商に在り新の順川市場に於ける負褓商全体は其の筋の諭旨に心服せずして納稅に應せざるのみか他商を嗾かして納稅に反對せしめ又地方民を煽動して敢て不穩の言動を傳へ且楊市順川の暴動事件を傳令的に各地方へ向け誇大に喧傳流布する等彼等の行動に就き頗る注目を要すべきものあり此際相當の取締を爲すべきは刻下の急務なるべし

●奸商取締ご會議所
地方に於ては無資無產の者が徒らに店舖を張りて荷主より物品を取寄せ決濟期に至り蹤跡を韜晦する者ありけるが此惡風近來京城に於ても行はれ商業會議所の調査に依れば昨年六七月頃より年末までに京城市内に於て堂々たる店舖を張りながら自ら債權者會議を召集する等の奸計を運らす者六十軒餘あり由て善良なる商人は其爲め迷惑を被る者多く會議所にては近日役員會を開きて之が防禦方法を講ずると云ふ

●日清採木夫の衝突
惠山鎭の對岸支那領長白府にある採木公司には日韓清の採木人夫あり衆々感情の圓滿を缺ぎ兎もすれば小紛爭を釀し衝突の絕間なかりしがこの程又々賃錢の事より日人と淸人との間に一大紛爭を惹起し双方共暴力に訴へて我意を張らんとしたる爲め多數の負傷者を出したる旨其筋へ電報ありたりと云ふ

●紀念碑建設の請願
曩に尹進學外四名の有志家發起となりて京城市内に故伊藤公の紀念碑を建設する事に關し當局者へ寄附金募集の件願出で居たるが從來斯かる美名に籍口して寄附金を募り不正の用途に費消し去る者少からざるを以て多分認可を與へられざる事となるべしと云へり

●國有漁基の決定期
水產局に於ては國有漁基の調査に就て頻りに其進行を急ぎ居れるが許否の決定期は三月下旬迄にて從來の慣行に依り漁業を爲しつゝある者は其以後と雖も出願を爲し得べく右の決定は今日迄願書を提出し居れる者の謂なりと

●博川市場徵稅不穩
博川市場は開市當日徵稅に應せず財務官吏もほとほと困じ果てたるが此由を傳聞きたる定川署にては巡查數名を急派し万一の變に具へ更に徵稅を行ひたるも遂に一厘も徵稅に應せざりし由

瀛笛一聲 （一）
スイロー生

瀛笛一聲南大門を發したのは十二日の朝だ、偶然にも生に同車の光榮を與へたのは宇佐川東拓總裁、同秘書役長高橋副理事官及び鑛業學士のスミスと云ふ英人であつた、永登浦、水原車中の面々なかなか口を開かぬ其狀恰も高麗狗の如しだ秋風嶺に到つてソロソロ倦屈を感じ始めて、モー沈默は守れぬ、高橋君先づ英人を捕へた、ソーして生を捕へた、沈默は茲に破れた、氣焔が吐かれ始めた高橋君道がは外交官だ、而し面々は赤々體面を維持して居る。ドコから乘つたか車中に妙な英語を囀る韓人若夫婦の一組が居つた、彼はビロードの洋服を着けラッコの帽子を被り、一見伊太利の勞働者の如くあつた、彼は彼自身を生等に紹介して姓は金、職は禮式官だと云つたのみならず彼の父は田舍の大財產家で金山を五つも持つて居ると云つた金の妻は妓生のように見ねた、併し自稱禮式官の云ふ所によると彼女は支那の貴婦人だソーだ、二人の中は極端に睦ましく見ねた、吾人列國は侮辱さるゝ如く感じた、最早体面を構つて居られぬ。ドコかの驛で若夫婦が下車した、彼等に對する批評が始まつた、批評が串談に成つた串談が駄洒落になつたソロソロ面白くなつて來た、若い面々は勿論六十六歲の宇佐川總裁も中將と男爵の衣を脫いた、串茲に到らしめたのは韓人若夫婦の賜であつた

●宣川市場徵稅拒絕
過日開市したる宣川市場にては賣揚總額三千圓に上りたるも財務官吏の徵稅に對しては頑として之に應せず遂に一厘の徵稅をもなし得ざりしと云ふ

●土地證明事務改正
土地家屋證明及典當執行並所有權證明事務は法部廢止と同時に内部の所管となりたるが其方法に多少改正を要すべき者あり内部は目下之が調査中なりと

●飜譯官補試驗擧行
殆んど採用豫定數の二十倍に達しれれ

飜譯官補志願者の試驗は愈々今二十二日鍾路練習所に於て擧行する由

●安州市場徵稅困難
不穩なる流言に惑亂せられたる安州市場は十八日開市日なるを以て平壤より湯淺警察部長急行して現場に臨み警官憲兵の警固を嚴にして徵稅を開始したるが辛うじて數圓徵稅をなし得たる由

●弔慰金と療治料
暴徒鎭壓若くは一般警察事務に從事し死傷したる者に對し昨年一月以降支給したる弔慰金及療治料を聞くに

死傷原因	弔慰金	療治料
暴徒鎭壓從事	七、四五〇	一、三六八
犯人逮捕從事	二、〇〇〇	二五四
傳染病豫防從事	…	四七七
其他	…	二一七
計	九、四五〇	二、三一七

●種苗場書記任命
堀野鎗太郎氏は晉州、佐藤作藏氏は光州、今關長藏氏は公州へ何れも種苗場書記に命せらる

●英國汽船の入港
英船インドラ號は十九日朝上海より仁川に入港碇泊中

韓海漁獲種類（上）
朝鮮海水產組合調査に係る韓海出漁船昨年一箇年中の漁獲種類別左の如し

種別	船數（隻）	人員（人）	漁獲見積高（圓）
鰮網	四〇	一〇三	一〇、〇〇〇
運搬	一四	九一	…
打瀬	一三〇	五一四	九一、〇〇〇
鯛縄	三三一	一、一九八	三三一、〇〇〇
鯖流	四三五	一、七五六	四三五、〇〇〇
潜水	一二七	九五五	二三八、六〇〇
鱶縄	一七	一〇五	一三〇、六〇〇
揚繰	四八	二八六	一五二、〇〇〇
鰆網	六	一八	三三、〇〇〇
手繰	二二四	七四二	一三三、二〇〇
小網	五	二〇	一、二五〇
母船	三三六	一、二二六	…
釣船	四九二	一、四七四	二九五、二〇〇
海鰻	三	九	三、六〇〇
雜漁	二三	一五五	八、八〇〇
角網	一九	六八	一〇、四五〇
沽洲	八	二八	…
網船	四	一九	三、二〇〇
鰛網	一四二	五六六	四三五、六〇〇
エイ網	五	六〇	五、二五〇
鰊網	一	四	三五〇
裸潜	五四	四九三	一二九、六〇〇
地曳	一〇二	四五八	九一、八〇〇
鰕網	一四六	三一五	五六、七〇〇
敷網	六八	二三七	一三六、〇〇〇
小臺	七	二九	二一、〇〇〇
鰻叉	四五	一〇八	一一、二五〇
鰻掻	一	三	二五〇
鮟鱇	三三九	一、〇二五	一三三、〇〇〇
建網	八	三二	二、四〇〇
追込	二	六	五〇〇
捲網	四	一三	四、〇〇〇
刺網	四	一九	一、六〇〇
鱣縄	二五	九二	三〇、〇〇〇

民團事件の其後
京城居留民團醜吏檢擧事件は其後査して聞く處なかりしが監督廳官吏の調査は漸次進捗し既に現金收支の檢査を了はり目下徵稅臺帳と切符を照合中なり則ち醜吏の犯行は此內に潜む次第なれば特に綿密なる注意を拂ひつゝあるが兎に角存在切符の照合を進行し之を完了せる後更に臺帳を檢して不突合ひの點を指摘するの外なく而して彼等が潜食金額は此結果厘毛の微と雖も悉く發見するに到るべし今其推測金額を聞くに今日迄の調査によれば二千圓乃至三千圓の範圍にして犯行の開始期は六月よりと一方檢事局の取調も犯人の自白と搜索を遂けたるも尙は如上監督廳の檢査は有力なる參考に資すべしと云ふ

韓國產出の金額
韓國に於て年々產出する金の總高は一昨年に於て五百餘萬圓あり昨年は六百十一万二千餘圓なりしが產額の最も多きは雲山金鑛にして約三百万圓を產出し次は淺野總一郞氏の經營に成る順安金鑛二十八萬六千一百七十七圓稷山にては金塊十二萬砂金五萬八千圓遂安三万二百十七圓龜城宣川其他を併せ前項の產額なりといふ

東拓本社の敷地
東拓會社に於ては本社建築の爲め其敷地選定中なるが京城の候補地は値段の折り合はざる爲め目下行惱みの体なるが龍山軍司令部前の敷地も候補地として數へられつゝあり頻りに埋立を急ぎ居れりと云ふ

●月尾橋の撤廢問題
仁川月尾橋撤廢問題は經濟會の提案にて其筋に請願書を提出するの運びに至りたるが岩崎經濟會長は十八日龍山なる鐵道管理局を訪問し右に關する打合を爲したるに其筋の意嚮は差當り現今に於て該橋の撤廢を要せざれば之れを保存すべしと云ふにあるが蓋し修繕を施したる上利用せんとするの意志か將た他に何等かの寓意あるものゝ如しと

●江原道物產共進會
由來江原道は地勢の關係より他道の進步に伴はざるを以て今回實業獎勵の一端として物產品評會を開催することに決せしが期日は十月二十三日より十一月四日迄とし地方費のみにては其の負擔に堪ざれば農商工部より補助をなし成べく盛んならしむる計畫なりと云ふ

●共進會出品物發送
名古屋、福岡の兩共進會に韓國側よりの出品は全部取纏めたるに就き一昨十八日兩地に向け發送したるが猶增加すべき分は追送する事とせられたりと

●榊原憲兵隊長出發
憲兵隊長會議に出席の爲め榊原憲兵隊長は約一箇月の豫定にて二十日午前九時南大門發列車にて東上すると云ふ

●山本桃州氏歸朝
大阪朝日新聞特派員の同氏は政況視察の爲め二十日午前九時南大門發列車にて東上する筈

●共進會ご派出員
農商工部森士學は今回開催の福岡共進會へ派出せられ十九日朝南大門發列車にて福岡に出張

●檜崎桂園氏歸阪
大阪毎日新聞特派員の氏は社用を帶び廿二日出發歸阪

●小川課長の出發
名古屋共進會に出張の小川商工課長は廿一日出發の筈

●北沿岸航路の前途
韓國の北海岸一帶は屈曲少く從つて良好なる港灣を有せず巨船大船を泊し得べきは元山他一二に過ぎず其港灣の資格を具へたるは東に蔚山を初長箭洞、元山、新浦、雄基灣等を數ふるのみ目下同所沿海を航する汽船は釜山、雄基灣間を定期航海せる吉田秀次郞氏經營の汽船會社を初とし他商船社外船等にて廿五隻を有す貨物は輸出入共年々長足の進步をなし居れるが殊に近年同沿岸陸上交通の發展に伴ひ一層出入の增加は劇增するに至れり從前は同沿岸物資の出入は元山を以て主なる集散地とせしが近來船舶往來の頻繁なるに伴ひ集散地は釜山に推移するに至りしが今日を以て今後を豫想すれば近き未來に於て此の焦點は遂に日本に移るに至らん併し京元鐵道にして果して開通するを得ば一時は元山の復舊を見るべきも自然の大勢は如何ともすべからず北面一帶の貨物は直接日本に輸入さるゝは疑を容れざるが如しと某海運業者は語る

▲治外法權▼
一進會長李容九が宋秉畯と會見する爲め釜山へ出張した事は既に一般の評判となつて居る、處が神經過敏の當局者は同人の釜山行き新聞記事を差止めたされば本社は檢字濟みの者を取除け大韓日報の如きは既に版に組み込んで居ら伏せた位ひである▲當局者が一李容九の行動に斯く迄心を使ふのは畢竟李完用式の二の舞ひでも演じては厄介だからと云ふのであらふ▲されば吾人も努めて書かぬ事にして居たにも拘はらず、其翌日の京城日報の釜山電報に「李宋兩氏の消息」と題して宋秉畯は馬關に李容九は京城に向ふと書いてある所謂其の筋の取締と云ふ者はコンナものだ彼れの行動を人に知らしめざらんと欲せば京城に向ふの記事は宜敷くない筈だナンダ馬鹿ぐしい▲市場稅の徵收は隨分困難で博川、宣川杯は警官迄出張して一文も取り得ず、安州は平壤から湯淺警察部長迄出張して得た稅金が僅かに四圓と五十錢こゝ當分は徵稅よりは出張員の旅費の方が大分超過するであらふ▲徵稅と云へば家屋稅の如きも某田舍の居留地の如きは十數回も官吏が出張して漸く調査が出來たが、先づ十年分の稅金位は調査旅費に入つて居るであらふとのことだ、此分では追々日本人の暴徒が地方に起らねばよいがとは某地方居留民團代の直話だ



妖婦松田きよ

▽仲人は産婆屋の夫婦 ▽小使取りに嫁ぐ曹長

本年一月中當地歌舞伎座に中村福圓一座が開演中毎夜の如く土間に陣取る三十四五の紳士風の男あり伴れと云へば妻君とも見ゆる二十二三の女なるが他所の見る目も憚らず肝心の芝居は其方除けで[illegible]ベタ〜と意茶附いて居たが演劇が終るや直に手を取つて[illegible]

歩兵曹長 近衛第(三)にして女中さんに男と云は**親衛府付**

松田きよ(三)とこそ[illegible]

憲兵 [illegible] **尾關** [illegible] **夫婦別** [illegible] **京城** [illegible] **座** [illegible]

橋本と云ふ馬の脚 [illegible]

駈落ちの居催促 [illegible]

辻井戸に死ない氣で釣瓶の繩に縋つて**飛込**んだことのある所[illegible]

百圓 [illegible] **金一** [illegible] **前借金六十圓** [illegible] **大婦**の盃 [illegible] **七日** [illegible] 里山口より**母病**[illegible]ぞ藥[illegible]**南大門**[illegible]**出發**[illegible]翌八日の朝なりし、[illegible]山口に居るべき筈なるが[illegible]ばかりで御本人の[illegible]**金石旅館に投**宿[illegible]本町六丁目の横町邊[illegible]**近藤**さん程善い人はない[illegible]**小使取**[illegible]

藤公の咽喉を裂く

▽長さ四寸深さ一寸

斃れたる伊藤公の遺骸は大連に於て滿鐵醫院長河西外科部長尾見兩博士等の手にて防腐の始末を施したるなるが東京に着後夫人以下家族の閲柩をも見合はせて葬りたるより種々の說の傳はりけるが今回計らずも納棺當時の秘事の現はれ公の遺骸の始末方も判明するに至りぬ偖ても公の遺骸の大連に着せしは十月二十七日の夜にしてヤマトホテルの別館、奥まりたる一室に運ばれて靜に横はらしめ偖て防腐の一條となりしに前記河西、尾見の兩博士並に生前公に隨行せる小山醫師等は遺骸着京の上は必ず夫人以下家族の人々の閲棺せらるべくその節公の容貌に悽愴の相の現はれ居らんには骨肉の間柄如何ばかり嘆き悲まるべく均しく防腐の術を加ふるからにはとても事に面容を公の世に在る時の如く和平温柔に保たしめたく、斯くせんには遺骨の咽喉を切開して强度ホルマリン液を注入せねばならぬ左りとて公の遺骸に刀を加ふるは如何にも忍び難く、殊に小山醫師は終始公の身邊に從ひて最期までも見屆けたる人とて悲嘆の淚堰き敢へずして議容易に決せざりしが、彼是する內に時移り早や曉に近づけるより斯くては果てじと兩博士は遺骸に向ひ『御免あれ』と默禱しつゝ尾見博士は明晃々たる手術刀を飛ばして公の左の肩の根より咽喉へ掛け長さ四寸深さ一寸切開して其處より强度のホルマリンを夥しく全身に注入しつゝ手早く縫ひ合せて然り氣なく取繕ひ、ホット一息吐く折柄、東の窓より一道の曉氣冷き靈骸の上を過ぎて隣室なる通夜の人々の扉を押開きて假床の下に跪きたる頃は公の面貌莞爾として生けるが如くなりしが兩博士の折角の苦心も着京後開棺を見合はされしため空しくなり却つて遺骸防腐の失敗せるが如く傳へらるゝに至りし也と

平南不穩詳報

▽市場稅撤廢を迫る

去る十三日甑山邑市場不穩の情況ある旨財務署よりの通報に接し江西分遣所長は直ちに上等兵一名補助員四名を率ひ同日午後四時より現場に向ひ取調べたるに其の狀況下の如くにして今尙不穩なり『今回の順川紛擾に鑑み一般商民は同道して十三日午前八時頃財務署に出頭し今回政府は市場稅徵收を廢止せし事を聞知せり依つて今後財務署の方針は如何なるや希くは早々免稅すべし若し同稅の徵收を繼續する時は吾人等にも可然考へありと述べたるを以て或は紛擾を惹起せざるやを憂慮し當局者は將來を重んじ一時之れを慰め市稅は國民の義務たるものにして若し之れを徵收せざれば國家の盛衰にも大に影響を及ぼす旨懇々說諭せしも一般商民は之れを信せず却つて市稅の如きは財務署に於て徵收し擅に消費するもの〻如く主唱し居る狀況なりしも遂に說諭に基き一時退散せるも近く昨今の狀況は不穩なりとて目下嚴重警戒中なり』前記紛擾の發端は順川紛擾の影響を受けしと雖も其筋の詳報によれば該事件の主謀者は金千一(五〇)曾保隣(三)の敎唆に基くものにして兩人共に一定の住所なく妻子等もなく且つ職業と雖も僅少の商業を利用し各市場に徘徊し市稅の納附を妨害しつゝあるもの〻如しと云ふ

●銃獵者狙擊さる

▽頭部に命中して即死

黃海道を出沒しつゝある賊魁李鎭龍の卒ゐる四十名の賊團は去る十四日以來平山管區の搜索隊に追跡せられ窘窮の餘り却りて平山郡附近に遁れ來り同郡西下面古長洞の松林に潜伏し居たるが去る十七日汗浦居住の岡山縣安藝郡新口村字高瀨四木建作(三三)なる者銃獵に出かけ同地の河邊に於て該賊團に出會し狙擊せられて頭部に貫通銃創を受け即死したれば賊は被害者の所持したる銃を奪取して逃去したるを以て搜索隊は目下追跡中の由なるが從來賊徒は銃を得んが爲め銃獵者を狙ふこと屢次なる故其筋よりは特に注意を與ふるにも拘らず概して等閑視する由なれば注意肝要

●**毆り賃金五十錢** 仁川新町居住の某亭料理人大西庄吉と云ふは十七日同町二丁目飲食店福田方にて韓婦人の某と言葉の行違ひより口論を初め同婦人を毆打し金五十錢を紛失せしめたる儘龍山に赴かんとする旨訴出でに接し警官は庄吉に對し說諭の上五十錢を辨償せしめて事濟み

●**牙山郡の難波船** 本月一日忠清南道牙山郡二西面沖合にて出漁中の漁船暴風激浪に遭ひ二隻は行衞不明となり五隻は全く船体を破壞せられ乘組員沈在元(五六)は溺死し金哥(五六)孫哥(六三)の兩名は行衞不明となり未だに死体發見せられずと

●**京城基督敎會** 日の出町同敎會にては午前九時半日曜學校同十時半禮拜說敎午後七時半傳道說敎あり朝『愛と罪』渡邊暢氏『傳道說敎』岸川國太郎氏

●**拐帶犯人の處刑** 仁川地方裁判所支部にて審理中なりし浦項郵便所員官金拐帶犯人寺田政敏(三〇)に對する公判は此程開廷の結果懲役四年に處刑さる

●**吾妻樓の新妓** 仁川吾妻樓より長崎生れの宮田たね(十九)小蝶と名稱りて現はる

●**仁川敷島の檢梅** 仁川敷島遊廓の娼妓六十四名に對し昨日檢梅を行ひたるに一山の櫻助一名丈け洗滌を要するのみにて他は異狀なかりしと

●**一昨夜の敷島** 遊廓嫖客數は僅かに十八名にして其消費高は五十四圓四十六錢なりしと

●**壽座の桃中軒** 今二十日同人の讀物は例の義士銘々傳の內一岡野金右衞門忠僕直助の傳、丸派田越前守淺野御殿主の無念晴し一琵琶れ好みもの 二席

●**壽座の博多俄** 京城に於ける博多仁輪加連は來る二十一、二十二の兩日午後五時より當地壽座に於て獨特の滑稽に京城人士の頤の番を外づさせん計畫なるが其の番組は

初日 今幡隨院、蓄音機運轉、昔の長者今の有樣、濡手に粟の掴取り、筑前琵琶二席

二日目 僞軍人の入營、生佛坊主の掛取り、手向けせんかう場、風の便親子の再會、筑前琵琶二席

▲平民文庫▼

▲櫻井町の海山樓に判任官殿とかの妻君が通勤藝妓をして居ると云ふことを昨日の本欄に紹介したのは諸君御存じの通りである▲所が其の御亭主を統監府の判任官と云ふのは間違ひであるそうな▲投書に依りて見ると此れは〇〇隊〇部の屆員〇本君の妻君だ相だ▲序でだから申すが當地の各小料理店に客をとらぬ藝妓……と云ふのも如何だが三味線を彈く女が居るが之れは多く御亭主が腰掛である證據を出せなら何時でも(風聞子)▲親子と夫婦は無論緣の本部であらうが、袖をふれるも多少の緣とか、そんなら同じ玄海を渡つて來たのも多少の緣、して見ると同じ日本人に生れたのも前世からの緣と云つて見ると同じ地球に棲むのもイクラカの緣であるといつて見れば外國に居る犬と私ともイクラカの緣があると云ふ算用ですな一体何處迄行けば限りのあるものでせうか小僧はん(物好生)▲無限さ(小僧)▲私の隣りに居る人は、誰かが下層社會の人だと云つていましたが異實にさうてせう自分に生んだ子を斯の樣にします、そして何故生れたかと云ふ樣な風の事を云ひます亭主は默つているが時々た𠮟はその子が居るから助かつているのだ其子を拜めと云つていゝます異實にあの子は不憫だわ(愛兒女)▲此の頃の小料理屋の不景氣つたらない可愛想だ(放蕩息子)▲舊正月に入つてから又々薪炭の値が上つた困つたものだとは韓人計りでの話ではないよ何うかならんかしら(溫突生)▲京城の石炭商人中には隨分不正なことをして不正の利を貪るものがある一例を上ぐると細砂を混じ水を加へ等して量目を誤魔化し一等炭と號して二等炭を擱ます等のことは朝飯前だ(被害者)▲龍山京城間の道路は寒いときには凸凹と訝り付くし暖かくなるとズブ〜だし何うにかしなくては困るぢやないか(在米牛)▲石拔きとか何んとか云つて京城の米には石が多くて困る僕など一日に二つや三つ必ず嚙むよ(一老)▲ガツ〜なさるからでしよう(小)▲錢湯の上り湯と浴槽の湯とが共通になつて居る所があるとは度々聞く所だが其の筋に於ては何等取締りの方法を講せられぬ何云ものだよ(への字)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

二月廿日舊正月十日五黃佛滅丙辰滿△一白 恩を施して仇に報はるゝ事あり旅行轉住凶人より暴言若くは非理の要求にあふあり△二黑 宴會祝儀を擧ぐるは良好其他平穩△三碧 取引賣買貸借上間違起らんとす家畜兒女の事に留意すべし△四綠 新事見合の事提言要求にあひ後に煩累を釀すあらん△五黃 裁判訴訟談判には良好の日なり貸借賭事を禁ず△六白 快欣の日なり大抵吉知人友人のため損害迷惑あり△七赤 相談依賴等對人關係は効果あり色情拘情の破を戒しむ△八白 保證世話事を禁ず轉業更改に類する事良好△九紫 旅行凶家庭若くは近親のため出損若くは痛心あらん

二月廿一日舊正月拾一日六白大安丁己平△一白 早急事を慾るあり其他會心の日なり利益若くは悅びあり△二黑 榮譽の日なり入學門婚姻命名披露事業始め等幸先好し色情に溺るゝ勿れ△三碧 不寧の日なり新事見合せたるべし金品授受計算精算上間違多し△四綠 不和離間衝突起り易し常業上手拔かり油斷あり△五黃 自負に偏して破れあり尙懇願要求にあひ損害迷惑あり△六白 受任委任の法律關係に入る勿れ尙中傷誹謗避くべし△七赤 軌轢競爭排擠の恐れあり尙紛擾爭論を戒しむ△八白 幸運の日なり大抵吉但し精算上に紛紜起らん△九紫 婦女若くは兒孫のため勞苦あり尙概して不穩の日新事手控への事

●**天氣豫報**(自十九日午後六時 至二十日午後六時)

雪後晴

十八日(華氏) 最高溫度 一九、八 最低溫度 四一、五

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり德商店

△無料紹介欄▽

人事部

●高上女中 十五六歳の女子高等官舎上女中見習たし俸給望ます 氏名在社(八)

●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ 日の出町下山商行(電一〇〇七)

●小僕入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組來店(電三四三)

物件部

●貸家 西大門内韓國領事館隣六疊三間四疊半並に炊事場付格安に貸したし 所清水方へ

●電話譲渡又は貸付 九何〇番直接面會に限る 本町四 賛化堂藥店

●老舗譲渡 本町一丁目目抜の場所多額買込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急譲渡したし 旭町一の六〇 山村

●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三室家賃十七圓外に長屋總もあり電車電停に近く出入便利希望の方は電話七四番

●貸家 永樂町二三丁目にて貸家を望む男一人温突ならば最佳 氏名在社

●繪葉書譲渡 日韓未使用紀念繪葉書廉價譲渡したし 氏名在社(九)

廣告

龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

入院隨意 龍山新市街山下町 内科 小兒科 眼科 原醫院

中島醫院 入院隨意 京城壽町三丁目(電話三七八番) 院主醫學得業士 中島貞信

滋養と牛乳 純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番 馬車配達 衛生と消毒

入院隨意 内科 外科 小兒病科 梅毒淋病 京城壽町三丁目 高井醫院 院長 陸軍軍醫正 高井貞治 電話(二一六)

美術書畫 襖、壁、天井張 京城壽町一丁目 桂萬吉(電話六二七番)

出張所設置廣告

今般左記の處へ出張所を設置致候間此段廣告仕候也

土木建築請負業 京城南山下町一丁目 須々木本店(龍山電話一〇八番)

諸官衙御用達 京城南大門通り三丁目 須々木出張所(電話四二四番)

齒科治療

本町六丁目 ドクトル 中村安子(鍛そば横町)電話一五八三番

世界第一活動寫眞 開館

◎本館新築落成に付二月十八日(韓國隆熙四年陰暦正月九日)を以て開館す

◎二月二十日 午後六時より年中無休にて一般看客の觀覽に供す

◎本館の寫眞は佛國パテー會社の最新器械を使用し毎週輸入する世界各國にて最も壯觀を極むる山水の風景人事の現象は勿論、滑稽、奇術及び世界有名の總ゆる珍事を映寫するを以て一般の活動寫眞界にては斷じて企及し能はざるを明言す

◎本館は寫眞の外に日本美人の花の如き電氣踊を鳴物入にて演じ且つ韓國妓生の舞踏をも加ふるを以て錦上花を添ふるの觀あるべし

◎本館の建築宏壯にして内部の完全せる、裝飾の美麗なる、待遇の懇篤なる、衛生設備の整然たる、模範的演藝館として一般に誇る所なり

◎本館の擔任技師は青森縣人中村初太郎にして活動寫眞業の本邦創業以來吉澤商店及びパテー會社に技師兼教授として精巧老練の技術を有し斯界に錚々の評あり其映寫の巧妙なるは本館の誇りとする所也

◎高尚にして優美なる活動寫眞は活きたる教育にして又家庭の娛樂としても之に優るものなかるべし尚開館後は陸續御來觀の程偏に希望に堪へず候

入場料 四等 金拾錢 三等 金貳拾錢 二等 金參拾錢 一等 金五拾錢 特等席 金壹圓

每日午後六時開館

京城黃金町(農商工部通)

京城高等演藝館

資本金 一千萬圓 積立金 五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁〇製本半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層新發等致し大目を協約、官制、官規、等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度卒願上候敬具

明治四十二年十二月一日 京城 日韓印刷株式會社出版部

唐津石炭 直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店 電話八百三十五番

世界一のかぜ藥 全國藥店にあり

ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり

蛇印 アンチピリン丸

藥價 五戔・十戔・十五戔・廿五戔

發賣元 大阪心斎橋三丁目 丹平商會 本舖 東京日本橋區通油町 丹平商會

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)

京城旭町一丁目六十七番戸 辯護士 岡田榮(電話三九八番)

御待合 紅葉

京城南大門通三丁目光宣門側 電話一三八二番

位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

京城相生町(南門外横) 神戸資生分院 京城梅毒病院

◎花柳病專門並痔(注射療法) ●入院隨意● 院長 醫學得業士 盧田鉦平(電話一二九四)

外科 内科 梅毒痳病專門 戸田病院

●京城御成町南大門外一丁南 ●入院隨意 ●電話番號九三八番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 原金旅館(電話一一一五番)

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏(電話四百十二番)

胃腸消化新劑

澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十八分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)二十錢

蛋白脂肪消化 ヂゲスチン 錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散劑一オンス入(一瓶)二圓四十錢

右は最近内地に於て急激の需用を來したる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥 韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

特約販賣 自製

味噌 漬物 醬油 御問屋

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、國精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

上等石炭各種 並に無煙炭販賣

京城本町二丁目 林田交換所 電話六十五番

京城南大門通 株式會社十八銀行京城支店(電話四二〇)

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾五萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市濱町 支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國總支店 京城本町二丁目十五番 電話五十八

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、洲本、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪、

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、松本、青森、秋田、能代、七尾、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、

山陰道 大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、藤山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、網干、

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、若松、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、門司、久留米、若津、中津、小倉、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南、

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月十三日後三時出

●大連、太沽牛莊行 高砂丸 二月十九日正午時出

●大連、太沽行 山東丸 三月 二日午前六時出

●大連太沽行 酒田丸 三月 五日正午時出

●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 立神丸 三月 九日午後 時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎艀ニテ御送リ可申候送迎艀ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事

仁川海岸通 電話三九番 貨物及船客取扱店 郡回漕店